

リンドウ品種「ふくしまかれん」の 適正な茎立ち本数

福島県農業試験場 野菜部

平成14年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

花き—リンドウ—品種—栽植様式・栽植密度—品質・食味

分類コード 05—25—01152700

2 担当者

安齋正典

3 要旨

リンドウ品種「ふくしまかれん」の高品質安定生産技術を確立するため、株当たりの茎立ち本数が切り花品質に及ぼす影響を検討し、条間30cmの2条植えで株間15～20cmの栽植密度であれば、定植3年生株以降の株当たりの平均株立ち本数は15本以内であるため、茎立ち本数の多少が切り花品質に影響することがほとんどないことを明らかにした。

- (1) 平成12年度に定植3年生株の品種特性を調査した結果、西郷、下郷、飯館の各転作ほ場の株当たりの平均茎立ち本数は5～6本であった。また、船引の畑地ほ場では株当たりの平均茎立ち本数は14本と多かった。しかし、茎立ち本数が切り花品質に及ぼす影響はほとんど見られなかった。
- (2) 平成13年度に飯館の定植4年生株を用いて、株当たりの仕立て本数が切り花品質に及ぼす影響を調査した結果、株当たりの仕立て本数が4～6本の範囲では切り花品質に及ぼす影響は少なかった。
- (3) 平成14年度は現地3カ所(岩代、喜多方、飯館)で、定植3年生株の株当たりの茎立ち本数と切り花品質の関係を調査した結果、平均茎立ち本数は岩代5.8本、喜多方11.1本、飯館7.2本であった。また、茎立ち本数の多い喜多方は切り花長が最も長く、飯館は調整重がも重い傾向を示す等、栽培地による格差が大きく、茎立ち本数が切り花品質に及ぼす影響はほとんど見られなかった。

4 その他の資料等

なし